

# 今年度(R5)の取組

# 排水対策の進捗～グレーチングの交換～



落葉やごみが詰まりやすいグレーチングの交換

流す

溜める

排水する



大雨が降ると、雨水と一緒に落ち葉やゴミが流れてきてグレーチングが詰まる  
ことがあります。  
グレーチングの目幅の大きいものに交換しゴミや落ち葉の詰まりを軽減して  
います。

実施年度 R5年度(約300枚交換)

## 八江町地区水路

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路があり石積みやコンクリートにより整備されたものもありますが土羽の整備されていない水路もあります。こういった水路のなかには、水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こすものがあることから、水路の改修を進めています。

実施年度 R5年度

## 甘木地区水路

流す

溜める

排水する



市内には、多くの水路があり石積みやコンクリートにより整備されたものもありますが土羽の整備されていない水路もあります。こういった水路のなかには、水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こすものがあることから、水路の改修を進めています。

実施年度 R5年度

# 排水対策の進捗～浚渫(しゅんせつ)～



## 市内の河川・水路のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



水路に土砂が堆積し、草が繁茂すると流下阻害となるので、土砂等を撤去し、水の流れを良くします。市内には多くの水路があるためすべての水路を定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、水路の浚渫を実施しています。

実施年度 随時 (R5年度:45箇所)

## 市内の道路側溝のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



道路の側溝や集水桝に土砂が堆積しすぎると、大雨の際に水はけが悪くなることから土砂等を撤去し、水の流れを良くします。市内には多くの道路側溝や集水桝があるためすべてを定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、浚渫を実施しています。

近年、地域でのボランティア活動も増えており、大変助かっています。

実施年度 随時 (R5年度(12月末時点):側溝 2,656m、桝 61箇所)

## 道路側溝改良

流す

溜める

排水する



市内には、多くの道路(市道)が整備されていますが、あわせて道路に降った雨を、水路や下水道に排水するための道路側溝が整備されています。しかし、なかには道路側溝が整備されていないものや、蓋などを架設できる構造ではなく老朽化しているものも多く、うまく排水できないことから、道路側溝の改良を進めています。

実施年度 令和5年度

# 排水対策の進捗 ～ため池の活用(三田堤(高取校区))～



## 堤体の補強や放流管の改良

流す

溜める

排水する

大雨が降り、水が一気に下流に流れると、下流域の浸水のリスクが高まります。雨を一時的に貯留し、少しずつ水を下流に流すため、農業用としての利用がなくなったため池の治水池への活用を実施しています。

実施年度 工事中 (令和6年度完成(予定))

着工前



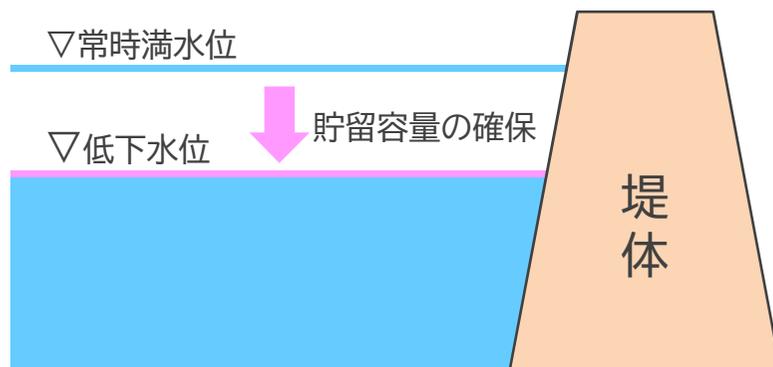
工事中(仮設道路整備)



## 農業用ため池の低水位管理

降雨により一気に水が下流に流れると、下流の浸水のリスクが高くなります。  
水位上昇時に少しずつ水を下流へ流すため、また大雨時の一時貯留量確保のために、ため池に貯留している水を事前に放流し水位を低くしています。

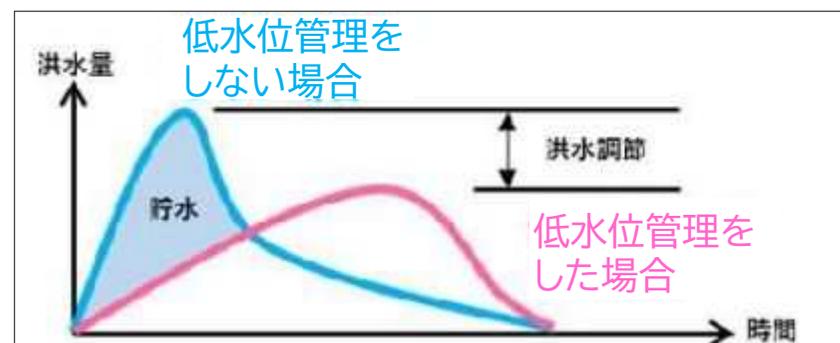
実施年度 随時  
(実施中のため池 21箇所(令和5年現在))



流す

溜める

排水する



出典:国土交通省ウェブサイトより

# 排水対策の進捗～田んぼダム～



大牟田市公式キャラクター「ジャ-坊」

釈迦堂地区 (大字宮崎、上内、岩本)

流す

溜める

排水する



## 水田の活用 (田んぼダム)

- 「田んぼダム」 (落水口に流出量を抑制する板等を設置し、水田に降った雨をゆっくりと排水) の取組によって湛水被害リスクを低減。

流出調整板設置の例



### 【施設の整備等】

- 水田整備、「田んぼダム」の取組促進



大雨が降ると、田んぼの水位が上昇し、水が一気に下流に流れます。大雨が降っても一時的に水を貯留し、少しずつ下流に流すための、田んぼダムの取組を開始しました。

実施年度 随時

出典:農林水産省ウェブサイトより



## 市内の調整池のしゅんせつ

流す

溜める

排水する



調整池に土砂が堆積し、草が繁茂すると貯留量が減ったり、草がオリフィスに詰まったり管理するうえで支障となるので、土砂等を撤去します。市内には多くの調整池があるためすべての調整池を定期的に浚渫(土砂撤去)することは難しいですが、市職員が現地を確認し、調整池の浚渫を実施しています。

実施年度 随時 (R5年度:10箇所)

## 三川新ポンプ場の建設

流す

溜める

排水する

令和2年7月の記録的な豪雨により浸水被害をうけたポンプ場の復旧工事として、隣接地に新たなポンプ場を建設しています。

実施年度 工事中（令和8年度完成(予定)）

詳しくは、こちら…

<https://www.city.omuta.lg.jp/kiji00315323/index.html>

着工前



工事中



これまで(R2~4)の取組

## 水路の改修工事

流す

溜める

排水する



有明海沿岸道路の健老インターチェンジの南にある道路(新開町1号線)は、水路の水はけが悪く、頻繁に道路冠水を引き起こし、交通に大きな影響を与えていました。今回水の流れを良くするために、道路排水の流末である水路を改修しました。

実施年度 R4年度

## 市内の水利のない堰の撤去

流す

溜める

排水する



稲作をする際、取水するために必要な堰ですが、大雨の時などは河川や水路の流下を阻害している現状があります。そこで、水路の流れを良くするために、農業用としての役割を終えた堰を撤去しています。

実施年度 随時（R2年度以降:17箇所）

## 農業用ため池の低水位管理

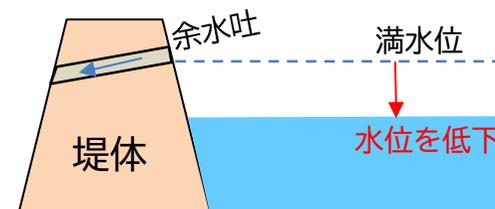
流す

溜める

排水する

通常、降雨によりため池の貯水量が多くなると、余水吐を通して、一気に水が下流に流れます。  
水位上昇時に少しずつ水を下流へ流すため、また従来より低い水位を保つことで、大雨時の一時貯留量確保のために余水吐にスリット(切り欠き)を設置しました。

実施年度 R2年度



着工前



完成

※通常、せき板は設置していません



## 流出抑制施設の設置

流す

溜める

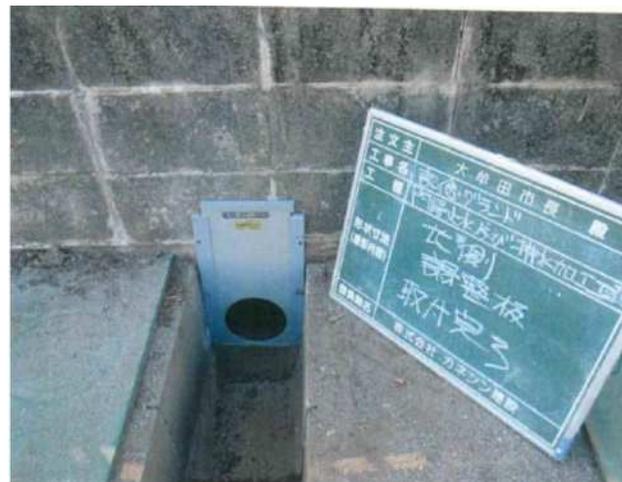
排水する



大雨が降ってその水が下流に一気に流れると下流の浸水が大きくなります。一気に流さず少しずつ流すよう記念グラウンドに止水壁やオリフィスなどのオンサイト貯留施設を整備しました。

実施年度  
R4年度

## オリフィスの設置



## 止水板の設置

流す

溜める

排水する



大雨が降ってポンプ場の周りが浸水しても、ポンプ場が浸水することなく稼働できるように止水板の設置や施設の嵩上げを実施しました。

実施年度  
R3～4年度

## 燃料移送ポンプの嵩上げ



# 排水対策の進捗～排水ポンプ車～



## 排水ポンプ車

流す

溜める

排水する



近年の激甚化、頻発化する豪雨等による河川の氾濫など、市内で浸水被害が発生し、長時間の浸水が予想される場合に、速やかに出動し、少しでも浸水時間を軽減させるため排水ポンプ車を導入しました。

実施年度 令和4年度

## 流域内の他自治体の取組

## 河道掘削(福岡県)

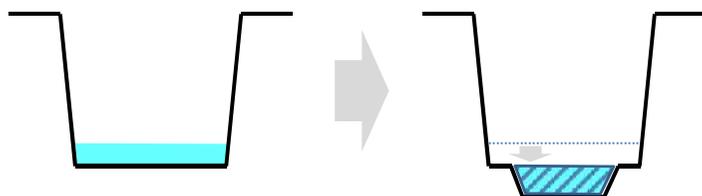
流す

溜める

排水する



河床掘削のイメージ



 : 掘削範囲

河川の水位が上昇すると、浸水の高リスクが高くなります。諏訪川の流下能力を向上させ、水位を低下させるため、河川の中心を掘削しています。  
実施後は、水位が低下し護岸周辺の河床が見えるようになりました。

実施年度 令和4年より実施中 (令和7年度完成(予定))

# 排水対策の進捗～堤防嵩上げ(隈川、大牟田川、諏訪川)～



## 堤防嵩上げ(福岡県)

流す

溜める

排水する



河川が溢れると、浸水被害が大きくなります。昔からある河川は自然の形をしているため、護岸が低いところや幅が狭いところの護岸の嵩上げを実施しました。

実施年度 R4～5年度

## 上長田地区(南関町)

流す

溜める

排水する



### 水田の活用 (田んぼダム)

○「田んぼダム」(落水口に流出量を抑制する板等を設置し、水田に降った雨をゆっくと排水)の取組によって湛水被害リスクを低減。



#### 【施設の整備等】

○水田整備、「田んぼダム」の取組促進

大雨が降ると、田んぼの水位が上昇し、水が一気に下流に流れます。大雨が降っても一時的に水を貯留し、少しずつ下流に流すための、田んぼダムの取組を開始予定です(現在工事中)。

実施年度 工事完了後随時

出典:農林水産省ウェブサイトより